

Visit Finland (フィンランド政府観光局)

2025年1月28日

Visit Finland が厳選、2026 年欧州文化首都「オウル」で体験する、

北極圏ならではの特別な文化体験

～世界初演のサーミ・オペラから、凍結した海で開催されるテクノ&アートの祭典、氷のサウナまで～



クレジット : Frozen People

Visit Finland (フィンランド政府観光局) は、2026 年の欧州文化首都に選出された、フィンランド北部・バルト海沿岸の都市オウルにて開催される、北極圏ならではの創造性と文化を体感できる注目プログラムを厳選して紹介します。2026 年のオウルでは、幻想的なオーロラが空を彩る冬から、太陽が沈まない夏の白夜まで、年間を通じて 1,000 を超える多彩な文化イベントが開催される予定です。世界初演となるサーミ・オペラをはじめ、凍結した海の上を舞台にテクノミュージックと現代アートが融合するフェスティバル「Frozen People」、さらには氷で造られたサウナなど、他に類を見ない体験が、あらゆるタイプの旅行者を魅了します。

欧州文化首都としてのオウル

欧州文化首都 (European Capital of Culture) は 1985 年に創設された、ヨーロッパの文化的多様性と創造性を称える国際的なプログラムです。オウルは、この栄誉を受けるフィンランドで 3 番目の都市となります。人口約 22 万人のオウルは、起業家精神と教育を基盤に発展してきた都市で、市内に 2 つの大学を擁し、約 2 万 5,000 人の学生が学んでいます。2026 年には、オウル市および周辺 39 の提携自治体を舞台に、芸術、テクノロジー、パフォーマンスが融合するユニークな作

品やイベントが数多く展開される予定です。「世界で最も幸せな国」として知られるフィンランドにおいて、オウルは文化と創造性の新たな魅力を世界に向けて発信します。

四季を通じて楽しめる多彩なプログラム

公式カレンダーにはすでに 1,000 以上のイベントが掲載されており、今後も順次追加される予定です。年初の冬季には、雪の彫刻やアイススイミング、凍結した海を舞台にしたエレクトロニック・ミュージックや光の演出が体験できるイベントなど、北極圏ならではの体験型イベントが数多く開催されます。一方、夏のプログラムでは「食」「音楽」「コミュニティ」をテーマに、人々が集い、交流し、つながる場が創出されます。

Visit Finland が厳選する注目イベント



クレジット : City of Oulu

1. 文化・芸術を愛する方へ：世界初演のサーミ・オペラ『Ovvilá（オヴラ）』

1月、オウル劇場にて、世界初演となるオペラ『Ovvilá（オヴラ）』が上演されます。本作は、北欧唯一の先住民であるサーミ人の視点から描かれた革新的な作品です。

フィンランド国内の舞台に立つ機会が限られてきたサーミ人ミュージシャンや、伝統歌唱「ヨイク（joik）」の歌い手たちが出演し、オウル交響楽団の演奏とともに、アイデンティティ、羞恥心、そして「沈黙の遺産」といったテーマを探求します。言語や文化が、いかに人々を自身のルーツへと結び直すのかを問いかける作品です。

2. アート愛好家の方へ：Oulu2026 x Tallinn Fotografiska 写真展

写真・アート・カルチャーを扱う現代美術館 Fotografiska Tallinn が、フィンランドで初となる写真展を開催します。

1月 14 日（水）に開幕するグループ展「PLAY」では、16 名のアーティストによる作品を通じて、計画されていない自由な「遊び」の感覚と再びつながることを目指します。鑑賞者自身の人生の中に、今もなお「遊び心」が息づいているかを共に探求できる場を提供します。Fotografiska は 2010 年にスウェーデン・ストックホルムで設立された、国際的に評価の高い写真・アート・カルチャーのための現代美術館です。

3. 音楽ファンの方へ：凍結した海の上で開催されるテクノ&カラオケ・フェスティバル

凍結した海を舞台に、エレクトロニック・ミュージックと北欧アートが融合する冬の祭典「フローズン・ピープル（Frozen People）」が 3 月 2 日（月）に開催されます。会場では、パフォーマンスやインスタレーションに加え、チルアウトスペースや光のアートなど、多彩なアートプログラムが展開され、夜 10 時まで楽しむことができます。

今年のハイライトの一つは、クリエイティブ集団「Ice Ars Beibi」による、氷で造られたサウナ『Jäään, Saunaan』です。来場者は誰でも自由に利用できます。

さらに今年は、フェスティバルの舞台が市内中心部にも拡大し、夜通し開催される「After Sea」テクノ・パーティー（18 歳以上対象）がカルチャーハウスで行われます。「S+T+ARTS」テント内では、参加型カラオケを含む多様なプログラムも用意されています。

4. 食を愛する方へ：全長 1 キロメートルのテーブルで囲む、北極圏の食体験

「アークティック・フード・ラボ（Arctic Food Lab）」プログラムでは、野生のベリー、キノコ、魚など、地元食材を活かした北欧料理を称えるイベント「サマー・イブニング・ケータリング（Summer Evening Catering）」を開催します。本イベントでは、地域住民と旅行者が一堂に会し、料理を持ち寄ったり、地元の出店者が提供する本格的なアークティック・ディッシュを味わったりしながら、同じテーブルを囲んで交流を楽しむことができます。北フィンランドのデザイナー集団「Proto」と、中国・杭州の中国美術学院（China Academy of Art）の学生たちが共同制作する、全長 1,000 メートルに及ぶデザイン性豊かなテーブルクロスが特別な食体験を演出します。

5. テクノロジーに関心のある方へ：フェスティバルとアンダーグラウンド・アートの融合

秋には、アート、科学、テクノロジーの相乗効果に焦点を当てたイベントが開催されます。

毎年恒例の「ルモ・ライト・フェスティバル（Lumo Light Festival）」は、10 日間にわたる「ルモ・ライト & テック・フェスティバル（Lumo Art & Tech Festival）」として拡大開催され、光、音、ビジュアルアート分野における国際的な専門性が結集します。公共空間を舞台にした大規模インсталレーションが街の景観を一変させるほか、意外性のある会場で展開される没入型作品が、自然・空間・時間に対する新たな認識を提示します。没入型アートインсталレーションのひとつとして、オウル中心部の地下駐車施設を舞台に、デンマーク人アーティスト Jakob Kudsk Steensen 氏がフィンランド各地で行ったエコロジカルなフィールドワークをもとに制作した作品『Underground Clash（仮題）』が登場します。